

(社)日本家政学会家族関係学部会
第31回 家族関係学セミナープログラム

日時：2011年10月22日(土)12時30分～10月23日(日)13時10分

会場：関東学院大学KGU 関内メディアセンター (JR関内駅北口より徒歩5分)

〒231-0011 横浜市中区太田町2-23横浜メディア・ビジネスセンタービル8階

TEL:045-650-1131

<http://univ.kanto-gakuin.ac.jp/modules/media7/index.php?id=81>

〈日程〉

10月22日(土)

12時30分～ 受付

13時～16時 公開シンポジウム M-803 教室

テーマ：「生活単位の個人化の進行とこれからの家族
—孤立した人びとの新しい絆の模索—」

16時30分～17時30分 総会 M-803 教室

18時30分～20時30分 懇親会 横浜中華街「四五六菜館新館」

10月23日(日)

9時45分～ 受付

10時～13時10分 自由報告

A《ワークライフバランス》 M-801教室

B《家族と国際化》 M-803教室

C《家族史・家族支援・その他》 M-806教室

第31回セミナー事務局

関東学院大学文学部 井田 瑞江

〒236-8502 横浜市金沢区釜利谷南3-22-1

Tel:045-786-7179(代) Fax:045-784-6612

E-mail: mida@kanto-gakuin.ac.jp

セミナー期間中の連絡先 KGU関内メディアセンター TEL:045-650-1131

第1日 10月22日 (土)

☆13時～16時

公開シンポジウム

M-803教室

「生活単位の個人化の進行とこれからの家族
—孤立した人びとの新しい絆の模索—」

コーディネーター・司会：臼井和恵（相模女子大学）
久保桂子（千葉大学）

《趣旨》

近年、日本社会では家族の位置づけが相対的に低下し、個人を生活の単位とする暮らしが広がりつつあります。家族の形成が個人の選択の問題として意識されるようになったことがその背景にあります。自らの意思とは無関係に、成り行きで、または、不本意ながら単身になる状況も広がっています。「個族」や「孤族」、「無縁社会」などの造語は、そうした状況を映し出したものともいえるでしょう。一方、形の上では家族と暮らしながらも、家族との関係が希薄化し、孤立感を深める高齢者や、親の介護のために自分の家族を築けずにいる若年・中年世代など、家族で暮らすがゆえに問題を抱える人びともいます。家族、親族、地域などの絆は、支えになるときもありますが、拘束になるときもあります。

本シンポジウムでは、家族や地域の絆を失い孤立した人びとが求める絆の再生のあり方、拘束や強制にならない家族の絆のあり方など、これからの人と人との関係のあり方を、家族関係を中心に多様な立場と視角から検討したいと思います。

シンポジスト：

報告1 山本雅基氏（「きぼうのいえ」施設長）

「身寄りのない人の最期に寄り添う活動から見えてくるもの」

報告2 春日キスヨ氏（松山大学）

「変わる家族と介護 —高齢者虐待防止支援の現場から見えてくるもの—」

報告3 杉井潤子氏（京都教育大学）

「脱家族化、そして新たなる家族的関係の構築」

☆16時30分～17時30分 総会

M-803 教室

☆18時30分～20時30分 懇親会

横浜中華街「四五六菜館新館」

第2日 10月23日(日)

☆9時45分～ 受付

☆10時00分～13時10分 自由報告 (○印は報告者)
報告20分(1鈴:終了1分前、2鈴:終了)、質疑応答5分 計25分、

A会場 《ワークライフバランス》 M-801教室

座長 : 永井 暁子(日本女子大学)
奥田都子(静岡県立大学短期大学部)

1. 父親の生育歴と家事・子育て頻度との関係 — 家庭役割意識との関連性からの検討—
林 葉子(お茶の水女子大学)
2. 仕事/家族の境界とコンフリクト — ボーダー理論による実証的検討
坂本 有芳(お茶の水女子大学)
3. 母親のワークライフバランスと子育て意識
山谷 真名(お茶の水女子大学・院)

☆ 11時15分～11時30分 休憩

4. 父親の仕事に対する意識と子育て参加
佐々木 卓代(お茶の水女子大学・院)
5. 育児休業復帰後の働く母親のワークライフバランス
佐野 潤子(お茶の水女子大学)
6. 就学前の子どもを育てる母親のIT利用と父親の育児参加
加藤 邦子(宇都宮共和大学)
7. 夫婦の家事・育児分担の実態と妻の不公平感 — 日本と台湾の事例より
曾 環蕙(奈良女子大学・院)

B会場 《家族と国際化》 M-803教室

座長 : 竹田美知(神戸松蔭女子学院大学)
李 環媛(岡山大学)

1. 日系企業における中国女性の労働状況 — 上海地区を中心に
章 聿瑛(奈良女子大学・院)

2. 中国80後の結婚観と親世代の期待 ー大連市での調査より
孟 珊珊 (奈良女子大学・院)

3. 中国80后女性の専業主婦志向 ー西安市の調査より
高 思宇 (奈良女子大学・院)

☆ 11時15分～11時30分 休憩

4. ベトナムにおける老親扶養・生活保障と高齢者の生活支援実態
佐藤 宏子 (兵庫県立大学)

5. 韓国女性高齢者の家族・社会関係と健康 ー年齢集団による差異分析ー
金 珠賢 (ソウル大学)

6. 未婚外国人女性の結婚難について
ロジナ・ナターリャ (広島大学・院)

C会場 《家族史・家族支援・その他》 M-806教室

座長 : 小澤千穂子 (大妻女子大学)

前田尚子 (岐阜聖徳学園大学短期大学部)

1. 大正期における避妊言説のロジックとジェンダー
宮坂 靖子 (奈良大学)

2. 親の介護における感情労働について
○小林 由佳 (群馬大学・院) ・長津 美代子 (群馬大学)

3. 植民地と家政学の関係からみる家族とジェンダー
磯部 香 (奈良女子大学・院)

☆ 11時15分～11時30分 休憩

4. 障害児の母親の「語り」からみる生活問題 ー家族支援検討へ向けた質的分析の試み
○山下 亜紀子 (宮崎大学) ・河野 次郎 (県立宮崎病院精神医療センター)

5. 韓国における生殖統制と「近代的母親規範」の生成
ー1960-70年代における家族計画事業の担い手たちへのインタビューを通してー
李 知淵 (お茶の水女子大学・院)

6. 特別養子に対する真実告知の是非
湯沢 雍彦 (元・お茶の水女子大学)

連絡事項

【KGU関内メディアセンターの出入り口について】

土曜日および日曜日は正面自動ドアが閉鎖されております。正面自動ドア右隣の「夜間通用口」からご入館ください。日曜日の入館可能時間は9時45分～ですので、ご注意ください。

【宿泊情報】

セミナー会場のある「関内」駅はJR横浜駅から京浜東北線で2駅（5分）と大変便利な場所です。ホテルは多数ありますが、観光地のため、早めのご予約をおすすめいたします。宿泊施設の情報は、横浜市観光情報公式サイト（<http://www.welcome.city.yokohama.jp>）でご覧になれます。ご参照ください。

おすすめエリア



- セミナー会場「関内駅」（JR・地下鉄）周辺：関内・馬車道・伊勢佐木町エリア
- 懇親会会場「石川町」（JR）、「元町中華街駅」（みなとみらい線）周辺：元町・中華街エリア
- その他：みなとみらい21エリア、横浜駅エリア

【託児について】

セミナー期間中に託児サービスをご希望の方は、9月30日（金）までに第31回セミナー事務局までご連絡ください。なお、託児サービスの利用料は利用者負担となりますこと、ご承知おください。

【その他】

抜き刷りの配布、書籍販売等を希望される方は、9月30日（金）までに第31回セミナー事務局までご連絡ください。なお、セミナー期間中の抜き刷りや書籍の管理（展示・販売・撤収など）については各自の責任で行ってください。

第31回 家族関係学部会セミナー実行委員

- 井田瑞江（関東学院大学・実行委員長）
- 井上清美（川口短期大学）
- 臼井和恵（相模女子大学）
- 大石美佳（鎌倉女子大学）
- 久保桂子（千葉大学）
- 永田晴子（國學院大學栃木短期大学）
- 細江容子（上越教育大学）
- 松島悦子（お茶の水女子大学・非常勤）
- 八巻睦子（総合警備保障（株））